中間評価（ステージゲート審査）結果

研究課題名：環境変動とマングローブのエピゲノム動態（Modeling plant adaptation in face of climate change using genomics andepigenomics of stress tolerant Mangrove trees）

研究代表者：MIRYEGANEH Matin（沖縄科学技術大学院大学　サイエンス・テクノロジーアソシエイト）

本課題は、ストレスの環境レベルに基づいて自然個体群でエピジェネティックな変動が発生するか否かを理解することで、エピジェネティックな変動と表現型の変化との関係についての洞察を得て、植物の適応応答の理解を深めることを目的とする。フェーズ 1 では、当初計画のマングローブのゲノム配列を決めるところから開始し、ストレス応答の違いを発見するなど、沖縄に生息するマングローブの川や海水などの生育環境によるエピジェネティック変化について着実な成果を挙げた。フェーズ 2 では季節変化によるエピゲノム・ゲノム変化やマルチオミックス解析などへ展開し、ブレークスルーに繋げることを期待する。

以上